

令和5年度 第3回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月4日（水） 10時から11時40分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 石川 公子、名倉 久純、杉浦 猛弘、鈴木 仁、山田 佳敬
- 4 欠席委員 本多 靖明、永田 真也、藤本 桂
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 恭子、花島 佳子
- 6 学 校 中村 竜久（校長）、杉山 友里（教頭）、高林 秀仁（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項 （1）幸せを実現できる子供を育てるために

（2）学校評価アンケートの項目の検討

- 9 会議記録 作成者 CSディレクター 波多野 祐子

- 10 会議記録

司会の高林（教務主任）から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）幸せを実現できる子供を育てるために

- ・初めに、校長より、グランドデザインの確認と説明があり、今までの学校の様子や、教育活動の紹介があった。遠足ではたてわり活動、運動会では目標をたて、達成感を得ることができた。地域の方のご協力をいただき、「ねこのて」によるイベント（お話を聞かせて）が行われた。クラブ活動では、スポーツクラブが、地域でスケートボードを主宰している方を講師に招いて、スケートボード講座を行った。校内研修では、より良い授業の為に、先生方が授業研究等を行った。部活動では、部会水泳記録会で、本校児童が活躍した。
- ・コロナが終息し、制限のない活動ができ良かった。そのことに感謝し、継続していけるよう努力していかなければいけない。 （石川委員）
- ・全学年良い活動ができている。キャリア教育もできていると思う。PTA学級支援部のこれからの在り方を考えていく必要があるのではない。再来年度をめぐりに、学級支援部とCSとの連携を考え直す必要もある。（鈴木委員）
- ・今年度、リース作りのお手伝いをCSで募集したが、突然の依頼であったので、後任の為に、活動の年間計画を立てていくほうがよいのではないか。（山田委員）
- ・学校では年間計画を立てている。保護者を中心にお願いしたが、保護者の参加が無理な場合もあり、突然のお願いになってしまう時がある。 （杉山教頭）
- ・リース作りは、「参観会と同日だったので、お手伝いに参加できなかった。」との意見を聞いた。 （花島CD）
- ・突然の依頼は臨機応変で良いと思うが、「ねこのて」を利用してもらっても良いと思う。 （石川委員）

- ・オブザーバーとして、次期PTA 会長に学校運営協議会に入ってもらってはどうか。
(鈴木委員)
- ・入っていただく方向で考えていくようにする。
(中村校長)

(2) 学校評価アンケートの項目の検討

- ・知、徳、体に関する資料（グラウンドデザイン）を添付した方がいいのではないか。
- ・10, 11 でいじめの質問で9までの質問との差が大きいのではないか。
- ・いただいたご意見を生かして改善していく。
(高林教務主任)

11 報告（山田委員）

- ・戦争体験の話は遺族会に依頼し、来年1月開催予定である。
- ・雅楽は、12月に開催予定である。

その他報告事項等

- ・司会から、次回会議は、令和6年1月26日（金）13時から14時20分、会議室で開催する旨の報告があった。